

歯科・歯科口腔外科

概 要

部 長：谷池 直樹

スタッフ：3名 専 攻 医：3名 初期研修医 4名

令和6年度 新規入院患者数：335人

(顎変形症：107例、顎変形症術後・骨折術後の抜釘：59例、唾液腺関連：17例、顎顔面骨折：15例、顎骨嚢胞 62件)

外来手術件数：846件

研究活動・学会発表：国内 4

論 文 掲 載：和文 0, 英文 7

特 徴

1. 診療科数 34 の総合病院の中で、口腔外科疾患を中心に幅広い症例が経験できる。
2. 大学病院に匹敵する多様な症例を経験できるメリットがある。特に顎変形症と唾液腺疾患の症例数は国内トップクラスである。また、顎顔面外傷をはじめとした救急対応についても、最前線で経験できる。
3. 日本口腔外科学会認定指定研修機関（日本口腔外科学会指導医 2 名・専門医 3 名・認定医 2 名在籍）であるので、研修医に引き続き専攻医の間で口腔外科認定医の資格を得ることができ、更に専門医資格に向けた実績を積むことができる。また、日本口腔外科学会指定研修機関、日本顎変形症学会指定研修施設でもある。
4. 希望により頭頸部外科・形成外科研修（各 1 ヶ月間）ができる。

一 般 目 標

1. 口腔顎顔面領域の疾患に対する医療にとどまらず、顎口腔の果たす役割が理解できる、医師と対等に働くことができる口腔外科医として、オールラウンドな能力を習得すること。
2. 他の医療従事者と協調して診療にあたり、医療チームの一員として、またリーダーとしての自覚を育成すること。
3. 日本口腔外科学会認定医を取得し、さらに専門医試験受験資格（論文投稿掲載 3 本以上は必須、学会発表）を取得すること。

行 動 目 標

- 1 年目：** 医療面接・基本的身体診察を習得する。
 口腔外科にとって必要な関連医学知識の履修
 臨床検査値の評価
 画像情報（CT、MRI、核医学検査、超音波検査）の評価
 応急処置、高頻度口腔外科手術
 日本口腔外科学会および関連学会への発表および論文 1 編
- 2 年目：** 顎炎ないし蜂窩織炎手術、口腔並びにその付近に発生する嚢胞、腫瘍の摘出手術
 などの診断、治療ができる
 日本口腔外科学会および関連学会への発表および論文 2 編
- 3 年目：** 顎骨骨折手術、顎変形症関連に対する手術
 口腔並びにその付近に発生する嚢胞、腫瘍の手術
 手術症例については大小 100 例以上の執刀者となることを目標とし、2 年次、3 年次の目標項目 2) に挙げる手術 20 例以上を含むものとする。
 希望により頭頸部外科・形成外科研修（各 1 ヶ月間）
 日本口腔外科学会および関連学会への発表および論文 2 編

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
				カンファレンス・病棟回診 (8 時 10 分)	
午 前	初 診 外来手術	初 診 入院手術	初 診 外来手術	初 診 外来手術	初 診 入院手術
午 後	外来手術	入院手術	入院手術	外来手術	外来手術 入院手術
			研修医勉強会	研修医勉強会	研修医抄読会

見学等問い合わせ先

谷池 直樹 : taniike@kcho.jp